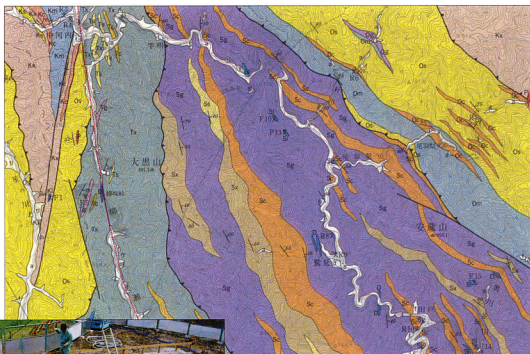


5万分の1地質図幅「敦賀」

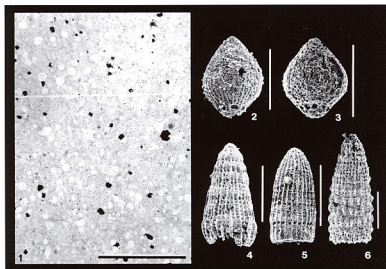
＜栗本 史雄・内藤 一樹・杉山 雄一・中江 訓＞



1. 敦賀図幅の一部。



2. トレンチ調査で出現した柳ヶ瀬断層。はしごの左側では、堆積時にほぼ水平だった地層が断層によって引きずられ、垂直になっている。



3. 酸性凝灰岩の顕微鏡写真と産出した放射虫化石。

1は放射虫化石を多数含む酸性凝灰岩、スケールは1mm。

2～6はフッ酸処理によって取り出した放射虫化石。

2: *Tricolocapsa cf. tegiminis*.

3: *Tricolocapsa(?) fusiformis*.

4: *Archaeodictyomitra gifuensis*.

5: *Archaeodictyomitra suzukii*.

6: *Hsuum cf. hisuikyoense*.

この化石群集の指示する時代はジュラ紀中期、スケールは0.1mm。

(関連: 本文69ページ)